

節目(ふしめ)

校長 田島佳子

節目(ふしめ)：木材や竹の節のあるところ、また比喩的に、ものごとの区切りとなる大事なところ

季節を分ける年中行事がいくつかあります。同じように長い人の一生にもその時々で節目になるものがあります。生まれて一か月を過ぎるとお宮参り、お食い初め、1歳の一升餅、七五三、成人式など。そして体の変化によって運気が変わる厄年という概念もあります。武士では15歳ごろになると元服という儀式がありました。もう子供ではなく大人として、一人前の武士として戦いに出られます。

江戸の幕末に活躍した志士の一人である橋本佐内が15歳で著した「啓発録」に次のようがありました。

- 1 「稚心(ちしん)を去る」親の庇護のもとで甘える幼い子供のような心を捨てる。
- 2 「振気(しんき)」人に負けないという気持ちで、心を奮い立たせる。
- 3 「立志(りっし)」自分が進んでいく道に向けて、心を定める。
- 4 「勉学(べんがく)」立派な先人の後ろ姿に学んで、勤め励む。
- 5 「交友を択(えら)ぶ」互いを高めあうことができる、真の友人を見いだす。

今まさに大人の仲間入りをする年齢を迎えたという節目の熱い思いが伝わってきます。

節目とはもともと竹などの植物や木材の「節になっている部分」を指す言葉です。植物には細胞分裂が活発に行われているポイントがあり、これを成長点といいます。多くの植物の場合、成長点は根や茎の先端部分にあります。竹の場合はすべての節に成長点があって、それぞれの節において細胞分裂が繰り返されます。竹がすくすくと速いペースで伸びていくのは、そのためです。一つの節の成長が終わると次の節の成長段階に入っていきます。

人生は長いです。「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くが如し、急ぐべからず」という徳川家康の言葉にもあるように、時に予期せぬ苦難に直面しようとも、それもまた、一つの節目なのかもしれないと思ひ、次の節目で竹のように細胞分裂を繰り返し大きく成長することを願っています。



1年 校外学習 都内巡り 1月31日(火)



3年生へ

いよいよ受験本番の季節になりました。

今までの成果が十分に発揮されることを願っています。

睡眠と食事、規則正しい生活を守りましょう。

桜を自らの力で咲かせるのです。

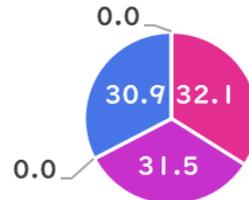
令和4年度学校評価（保護者）

■とてもあてはまる ■まああてはまる ■あまりあてはまらない ■まったくあてはまらない ■わからない ■無回答

① 学校の教育活動に満足している



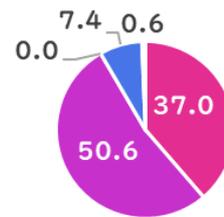
⑥ 学校生活で起きた問題への対応が素早く適切である。



② 子どもたちは学校生活が楽しい



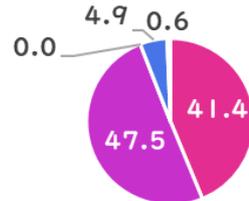
⑦ 子供の安全管理や事故防止に努めている



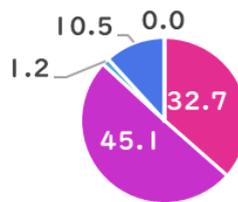
③ 子どもの人権に配慮した教育が行われている



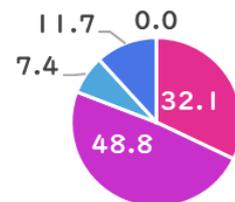
⑧ 学校による情報発信が積極的である



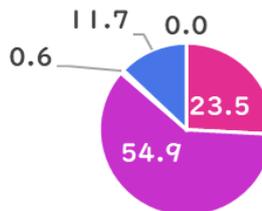
④ 学校は特色ある学校づくりへの取り組みをしている



⑨ 保護者の意見を受けとめ、協力して教育を進めている



⑤ 本校の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である



⑩ 教職員のあいさつや対応は、ていねいで適切である



学校評価への回答、ありがとうございました。

課題がある項目につきましては、具体的な方策を講じてまいります。ご意見等を頂く機会やアンケートも必要に応じて実施して、よりよく学校を改善いたします。また、保護者の皆様に学校での取り組みが伝わるように努めます。これからも本校への温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。